

式 辞

菊花が薫る今日の良き日に、来賓各位のご臨席のもと、平成二十九年度厚真町表彰式をかくも盛大に挙行できましたことは、誠に喜びに堪えないところであります。

本日表彰申し上げました皆様は、多年にわたる公益活動と善意によって、地域社会の振興と産業の発展に大きく貢献され、その功績が厚真町において広く認められたことにより、厚真町表彰条例により選考、決定されました、自治功労賞一件、自治貢献賞一件、社会貢献賞一件、産業貢献賞一件、善行賞四件、合わせて七名と一組の皆様であります。それぞれ受賞されました皆様には心からお祝いを申し上げますとともに、長年にわたる献身的なご尽力と不断のご努力・善意に対し、町民の皆様とともに深く感謝申し上げます。

町内では、山の木々が紅葉に染まる中、収穫作業が順調にすすめられており、今年も豊穡の秋を迎えることができました。これも開拓以来多くの先達が艱難辛苦に耐えながら築きあげてこられた農業基盤の賜物であり、改めて先達のご労苦に対し、心から感謝と敬意を表するものです。

さて、国政に目を向けてみますと、先月には国難突破を掲げて衆議院議員総選挙が執行され、国会も新たな構成となりましたが、北海道九区では久しぶりに二名の衆議院議員が誕生しました。所属政党は違いますが、それぞれの立場で地方が抱える少子化、担い手不足、地域経済の停滞、公共交通網の持続性などの諸問題に真摯に向き合い地方創生と建設的な議論の先導を通じて安全で安心なふるさと北海道の未来を築いていただきたいと期待しております。

この度の総選挙では、北朝鮮対策、消費税増税の用途変更が盛んに論じられましたが、与党が掲げた「人づくり革命」、「生産性革命」などの施策が真に国民の豊かさ・福祉の増進、国家財政の健全性の向上に繋がる実効性のあるものとなるよう注視してまいりたいと思います。既に本町では、将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、保育料の大幅な軽減、医療費負担の実質無料化や通学手当の支給など子育て世代の経済的負担軽減策のほか、安心して子どもを生み育てられる環境づくり、学校教育・放課後教育の充実などに取り組んでおり、町内外から高い評価をいただいています。

また、今年十月二日には町民待望の厚幌ダムの湛水試験が始まり、平成三

十年度の完成に向け最終局面を迎えています。関連事業の国営農業用水再編対策事業、道営ほ場整備事業、厚真川総合開発事業、統合簡易水道事業も、概ね順調に進捗しており、これらの大型公共事業の計画期間内完成に向けて引き続き関係機関一丸となって取り組んでまいります。基幹産業の農業を始めとした一次産業の持続的発展は、次世代の育成と地域経済の自立に必要不可欠であり、今後は、これら生産基盤や社会基盤の充実を本町の飛躍の契機として活かしてまいりたいと考えています。

一方、朝鮮半島を中心に北東アジアでは、これまでにない緊張が高まっています。予想されている南海トラフなどの大型地震災害や続発する大規模気象災害など様々な危機が私たちの周りに潜在しています。先達が重ねた努力に報い、また、次代を担う子どもたちの未来を閉ざさないためにも、我々は平和を堅持し、地球環境と謙虚に向き合っていかなければなりません。町民憲章には、「たくましい精神と遠大な理想をもって平和と繁栄の道を歩き続ける」と謳っています。グローバルな時代にあってローカルな地域社会に生きている我々ですが、それでも、これまでの人類の歴史を正しく認識し、文化をはぐくみ、人々の尊厳を守ろうとする価値観を大切にしていきたいと思います。

本日は自由と平和を愛し、文化を高める国民の祝日にあたり、様々な会場において町民参加の文化祭が開催されています。自然に抱かれたこの町に住み、高い文化を志向することは、豊かな人間性を培うことにつながります。生活と文化と自然、そして心が高い次元で調和する町こそが、これからの地域社会の理想であると思います。

本日受賞された皆様方には、今後ますますご精進を重ねられるとともに、地域振興と文化の向上のためにご指導とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びになりますが、受賞の栄誉に輝かれた皆様に対し、重ねてお祝い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、併せて本町の限りない発展を祈念して式辞といたします。

平成二十九年十一月三日

厚真町長 宮坂 尚市 朗